丸岡城城山整備基本計画作成業務に係る
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和6年7月

丸岡城城山整備基本計画作成業務に係る
公募型プロポーザル審査委員会

1 審査方法

丸岡城城山整備基本計画作成業務に係る公募型プロポーザル審査委員会において、総合評価を行い、提案者を選定した。

2 プロポーザルの経過

- 1) プロポーザル実施の公告 令和6年6月5日(水)
- 2) 参加表明書等の提出期限 令和6年6月18日(火)
提出者：1者
- 3) 企画提案書等の提出期限 令和6年7月9日(火)
提出者：1者
- 4) 審査委員会 令和6年7月17日(水)
 - ・ 企画提案書等提出者によるプレゼンテーション(20分)、
質疑応答(15分)
 - ・ 審査基準に基づく審査、総合評価
 - ・ 提案者の選定

3 審査委員会委員

No.	役職	項目	氏名	所属等
1	委員	学識経験者	仁科 章	坂井市文化財保護審議会 副会長
2	委員	有識者	高嶋 信博	(一社)丸岡城天守を国宝にする市民の会 副理事
3	委員	有識者	田中 典夫	公益社団法人丸岡文化財団 理事長
4	委員	行政	斎野 秀幸	坂井市 副市長
5	委員	行政	林 晃司	坂井市教育委員会 教育長

4 審査の基準

1. 業務実績・実施体制及び地域計画に関する提案(50点)
 - 1) 計画作成の基本的な考え方
 - 2) 整備基本構想に関する提案
 - 3) 整備基本計画に関する提案
 - 4) 業務実施体制について

- 5) スケジュール
 - 6) 業務実績
 - 7) 独自提案
2. プレゼンテーション及びヒアリング審査（50点）

5 審査結果

No.	提案者
合計得点	353点
平均	70.6点

6 最優秀提案者

株式会社イビソク

選定理由 企画提案者が1者であったことから、丸岡城城山整備基本計画策定業務に係る公募型プロポーザル実施要領 12項の(7) 留意事項に基づき、平均得点が60点以上を獲得したため、上記提案者を優先交渉権者とした。提案者は同種業務の実績も十分あり、業務遂行能力もあることが推認できる。提案内容は既往の計画を踏まえつつ、おおむね計画の包括的な内容が網羅されていた。また、現在の丸岡城が内包する課題についての的確に把握していると思われ、提案された計画策定の方向性は、行政・市民が目指す整備の方向性と概ね合致していると思われる。本計画が実施に向けた現実的な計画となるよう期待する。

7 終わりに

周辺整備計画をはじめとした既存の計画とは異なり、本計画は丸岡城天守の建つ城山の整備に重点を絞っている。既往の計画と適宜連携しつつも競合しないよう、留意して計画策定を進める必要がある。計画策定過程では、市民をはじめ、様々な方にアンケート等を実施する際に計画について説明することもあると思われるが、丁寧な説明を心掛け、理解を得ながら遂行していただきたい。

また、過日松山城で土砂災害が発生しており、被害が発生しているなかで、丸岡城城山整備基本計画の検討においても防災や防火に関する検討が求められると思われる。丸岡城が抱える様々な課題解決に向けて、着実に進めることができる計画策定を期待したい。

最後に、本プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた参加者各位に心からお礼を申し上げますとともに、審査に多大なるご協力とご尽力をいただいた審査委員各位に深く感謝を申し上げ、報告とする。

令和6年7月

丸岡城城山整備基本計画作成業務に係る
公募型プロポーザル審査委員会
委員長 仁科 章